

鈴木雅明 & バッハ・コレギウム・ジャパン Masaaki Suzuki & Bach Collegium Japan

BACH
COLLEGIUM
JAPAN

Bach Collegium Japan
Luther 500 IV



目覚めよ、と呼ぶ声あり

宗教改革500周年に贈る 名カンタータ、祝福の調べ



【指揮】鈴木雅明
Conductor: Masaaki Suzuki
【ソプラノ】ジョアン・ラン
Soprano: Joanne Lunni
【アルト】青木洋也
Alto: Hiroya Aoki
【テノール】櫻田 亮
Tenor: Makoto Sakurada
【バス】シュテファン・フォック
Bass: Stefan Voick
【オルガン独奏*】鈴木優人
Organ solo*: Masato Suzuki
【合唱・管絃楽】
バッハ・コレギウム・ジャパン
Chorus & Orchestra:
Bach Collegium Japan

東京公演 | 第123回定期演奏会

2017年5月20日 | 土 |
東京オペラシティ コンサートホール:
タケミツ メモリアル (開演 15:00 開場 14:30)

【チケット】1月27日 [金] 一般発売
S ¥8,000 (ペア前売 ¥15,000 BCIチケットセンターのみ取扱い)
A ¥6,500 B ¥5,000 C ¥3,500 J ¥2,000 U25 ¥2,000

【チケット取扱い】
バッハ・コレギウム・ジャパン
チケットセンター (平日10:00-18:00) | **03-5301-0950**

東京オペラシティチケットセンター | 03-5353-9999
チケットぴあ | 0570-02-9999 [Pコード 319-517] <http://t.pia.jp/>
ローソンチケット | 0570-084-003 [Lコード 33811] (自動音声 24時間)
ヴォートル・チケットセンター | <http://ticket.votre.co.jp/>
東京文化会館チケットサービス | 03-5685-0650
イープラス | <http://eplus.jp/>

※ 2017-2018シーズンのU25券は1992年以降に生まれた方が対象です。
(ご本人様1枚のみ。履歴番号指定不可)
従来の学生券はU25券に置き換わり、事前のご予約が可能になりました。
U25券をご購入頂いた方は公演当日、年齢確認ができる証明書をお持ち下さい。

神戸公演 | 第241回神戸松蔭チャペルコンサート

2017年5月21日 | 日 |
神戸松蔭女子学院大学 チャペル
《開演 15:00 開場 14:30》

【チケット】3月10日 [金] 一般発売
1F 指定 ¥8,000 (ペア前売 ¥15,000 BCIチケットセンターのみ取扱い)
2F 1列目 ¥4,000 後列 ¥2,000

【チケット取扱い】
バッハ・コレギウム・ジャパン
チケットセンター (平日10:00-18:00) | **03-5301-0950**

ローソンチケット | 0570-000-407 (オペレーター対応 10:00-20:00)
0570-084-004 (自動音声 24時間)
チケットぴあ | 0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>
イープラス | <http://eplus.jp/>

【主催】(有) バッハ・コレギウム・ジャパン
TEL 03-3226-5333 (平日10:30-18:00)
info@bach.co.jp <http://bachcollegiumjapan.org/>
【共催】公益財団法人 東京オペラシティ文化財団 (東京)
【後援】神戸松蔭女子学院大学 (神戸)



ルター500プロジェクト 完結間近!



Bach Collegium Japan
Luther 500 IV

いよいよ2017年があけ、ルターの宗教改革から「500年」という記念すべき年を迎えました。バッハ・コレギウム・ジャパンの「ルター500プロジェクト」シリーズ(全5回)は、今年の10月31日(宗教改革500周年記念日)に完結致します。ルターの制定した賛美歌に基づくJ.S. バッハのコラールカンタータと、宗教改革の伝統を継ぐ名曲をお届けするまたとない機会、どうぞお聞き逃しなく!

++++ 今回の聴きどころ ++++ 今回、演奏するJ.S. バッハの3つの教会カンタータは、聖書の深い教訓を含みつつも、いずれも祝祭的な慈愛に満ちた、華やかな作品です。最も有名な第140番「目覚めよ、と呼ぶ声あり」は、「10人のおとめの譬え」(マタイによる福音書25章第1節)のお話に基づいて、花婿に諭えられるイエス・キリストと、花婿を迎える「魂」の対話カンタータ。このカンタータの基づく賛美歌は、後のメンデルスゾーンも「聖パウロ」の冒頭で用いて、現代に至るまで最も有名なものになりました。歌う度に、その豊かな情感に興賞が抑えられません。第180番「おお愛する魂よ、汝を飾れ」では、わが魂に、「主の晩餐に招かれるよう、さあ、相応しく心を装いなさい」と歌います。天上での晩餐会に相応しく、冒頭から登場するジグのリズム、縦

と横のフルートが代わる代わる登場して、輝かしい音色で魂の喜びを伝えます。第100番「神のみわざは、いと善きかな」は、ティンパニとホルンによる華麗な響きで、神への全幅の信頼を表現します。ここで用いられる賛美歌もまた、現代にまで受け継がれた最も有名なもののひとつ。オクターヴ以上の音域を一気に駆け上がる冒頭がとても印象的なだけに、バッハもカンタータの中でしばしば用いました。演奏会の前半では「目覚めよ、と呼ぶ声あり」のオルガン・コラールや、「カノン」で有名なバッハの大先輩ヨハン・パッヘルベルの、同じコラールによるコンチェルトもあわせてお届けいたします。名カンタータの織りなす祝福の響きを、どうぞたっぷりとお楽しみください。

バッハ・コレギウム・ジャパン音楽監督 鈴木雅明



©Marco Borggreve

鈴木雅明 指揮 Masaaki Suzuki, conductor

1990年「バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)」を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。BCJを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に度々登場し、極めて高い評価を積み重ねている。近年は海外のモダン・オーケストラとの共演で多彩なレパートリーを披露。2013年にはBCJ合唱団を率いてニューヨーク・フィル定期にデビュー、大きな成功を収めた。CD録音も目覚ましく、特にBCJとの「バッハ:教会カンタータ・シリーズ」等では『歯切れよさ、明晰さ、そして峻厳な精神性の高さは聴く者の心を動かさずにおかない(タイムズ)』と賛辞が寄せられている。2012年ライプツィヒ市より国際的なバッハ演奏の貢献に対して「バッハ・メダル」を、2013年度サントリー音楽賞をBCJと共に受賞。2015年オランダ改革派神学大学名誉博士号を授けられた。又、ドイツ・マインツ大学よりグーテンベルク教育賞を受賞。現在、米国イェール大学アーティスト・イン・レジデンス、シンガポール大学ジョン・シウ・トウ音楽院客員教授、神戸松蔭女子学院大学客員教授、東京藝術大学名誉教授。



©Marco Borggreve

バッハ・コレギウム・ジャパン 合唱&管弦楽 Bach Collegium Japan, chorus & orchestra

鈴木雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラと合唱団。J.S. バッハの宗教作品を中心としたバロック音楽の理想的な上演を目指して活動し、「アンサンブル全体が協和しながら光を発するかのよう響きの美しさ(朝日新聞)」と高く評される。海外公演も多く、2015年5月にはブラハの春国際音楽祭などに出演、10~11月には器楽アンサンブルによるアメリカ公演(12都市)を実施。2016年春のロンドン・ウィーンを含むヨーロッパツアーでは《ミサ曲 口短調》を演奏、各地で絶賛を博した。これまでに80点に及ぶCDを発表し、多くの賞を受賞。2011年「バッハ:モテット全集」が欧州3カ国のベスト・ディスク賞を獲得。1995年から時系列順で取り組んだ「バッハ:教会カンタータ・シリーズ」が2013年に全曲演奏・録音(全55巻)を完遂。2014年ドイツ・エコー・クラシック賞 エディトリアル・アチーブメント・オブ・ザ・イヤー部門を受賞。

出演アーティスト ◎ソリストおよびコンサートマスター

ソプラノ ジョアン・ラン◎ 澤江衣里 藤崎美苗 松井亜希	バス シュテファン・フォック◎ 加末 徹 藤井大輔 渡辺祐介	オーボエ 三宮正満 荒井 豪 森 綾香	ヴィオラ 成田 寛 秋葉美佳
アルト 青木洋也◎ 鈴木 環 高橋ちはる 中村裕美	ホルン 福川伸陽 藤田麻理絵	リコーダー アンドレアス・ペーレン 山岡重治	チェロ 山本 徹
ティンパニ 菅原 淳	ヴァイオリン 寺神戸 亮◎ 若松夏美	ヴィオラオーネ 西澤誠治	ファゴット 堂取清高
テノール 櫻田 亮◎ 石川洋人 鏡 貴之 藤井雄介	フルート 鶴田洋子	オルガン 鈴木優人	

出演者は都合により変更になる場合がございます。予めご了承下さい



©Andrew Redpath

ジョアン・ラン ソプラノ Joanne Lunn, soprano

ロイヤル・カレッジ・オブ・ミュージックに学び、タゴール・ゴールドメダルを得て卒業。クリストファーズ指揮《ボッパアの戴冠》でイングリッシュ・ナショナル・オペラにデビューし、ガーデンナー指揮《真夏の夜の夢》等の舞台で活躍。「鈴のように透明に響き渡る、つややかに輝く声」(スコットマン)と評価され、モンテヴェルディからマラーまで幅広いレパートリーで活躍している。録音も多く、BCJとは「狩のカンタータ」(世俗カンタータ集第2巻)に続き、「結婚カンタータ」(同第3巻)、「大学教授祝賀カンタータ」(同第4巻)、「誕生日祝賀カンタータ」(同第5巻)をリリース。2016年4月BCJヨーロッパ公演でソリストを務めた。



©藤原栄治

青木洋也 カウンターテナー Hiroya Aoki, countertenor

東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学で宗教音楽学を学ぶ。ダブリンおよびハレでの《メサイア》、ライプツィヒ・ニコライ教会での《ミサ曲短調》ソリストに招かれ好評を博す。バッハの《マタイ》《ヨハネ》の両受難曲やカンタータ等の独唱を務め、BCJではライプツィヒ・バッハ音楽祭での《マタイ》独唱等で喝采を浴びた。近年は指揮者としても高く評価されている。「パーセル・プロジェクト」代表。ソリアルバム「イギリス・リュート歌曲」(Regulus)はレコード芸術誌特選盤に選ばれた。



©Ribalaluce

櫻田 亮 テノール Makoto Sakurada, tenor

声楽を故平野忠彦、G. ファッブリニ、W. マッテウツィ、G. バンディテッリの各氏に師事。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞、2002年ブルージョ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)など受賞多数。アカデミア・ビザンティーナ、ヴェニス・バロック・オーケストラなど一流の古楽アンサンブル、国内外のモダン・オーケストラ等と多数共演する他、クレモナ音楽祭、エディンバラ音楽祭など主要なオペラ舞台でも活躍している。日本イタリア古楽協会運営委員長。二期会会員。2013年より東京藝術大学准教授。2016年4月BCJヨーロッパ公演(ウィーン、アムステルダム等)でソリストを務めた。



©Marco Borggreve

シュテファン・フォック バス Stefan Vock, bass

スイス出身。パーゼル音楽院大学院修士課程を修了。D. フィッシャー=ディースカウ、K. ヴィトマーの各氏に師事。ドイツ・リート作品への造詣も深いと同時に古楽作品の歌い手としても人気が高い。またG. レオンハルト、S. クイケン、J. リフキンなどの指揮者と多数共演するほか、サント音楽祭、ローザンヌ・バハ音楽祭、ボスヴィル・マイスターコンツェルテ等のフェスティバルに出演。2013年にはこれまでの音楽活動に対してアールガウの評議員会より賞が贈られた。レコーディング参加作品も多く、度々ラジオ、テレビなどのメディアでも取り上げられている。



©Marco Borggreve

鈴木優人 オルガン独奏 Masato Suzuki, organ solo

東京藝大及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。鍵盤奏者・指揮者としてバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)や横浜シンフォニエッタなど国内外の公演に多数出演。音楽監督を務めるアンサンブル・ジュネクスでは、オリジナル楽器でバロックから現代音楽まで意欲的なプログラムを展開。2015年は春にラ・フォル・ジュルネでBCJ《マタイ受難曲》、アーティストック・ディレクターを務めた秋の東京芸術劇場開館25周年記念公演では、東京交響楽団メシアン《トゥランガリラ交響曲》を指揮するなど多彩なプログラムを披露。調音音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー、舞台演出、企画プロデューサー、作曲とその活動に垣根はない。

鈴木雅明(指揮) バッハ・コレギウム・ジャパン

5月20日&5月21日 演奏曲収録CD



J.S. バッハ: カンタータ全集 Vol.52

- ・第140番「目覚めよとわれらに呼ばる物見らの声」BWV140*
- ・第112番「主はわが信実なる牧者」BWV112
- ・第29番「われら汝に感謝す、神よ」BWV29
- ハナ・ブラシコヴァ(ソプラノ)、ロビン・ブレイズ(アルト)
- ゲルト・テュルク(テノール)、ペーター・コイ(バス)
- セッション録音: 2011年9月/神戸松蔭女子学院大学チャペル
- KKC 5349(SACD Hybrid)/輸入盤・日本語解説付 ¥2,857+税

J.S. バッハ: カンタータ全集 Vol.54

- ・第100番「神がなし給うは恵みに満ちた御業」BWV100*
- ・第14番「神がこの時我らと共におられなれば」BWV14
- ・第197番「神は我らの選け所」BWV197
- ・第197a番「いと高きところにいます神に栄光あれ」BWV197a(断片)
- ハナ・ブラシコヴァ(ソプラノ)、ダミアン・ギヨン(カウンターテナー)
- ゲルト・テュルク(テノール)、ペーター・コイ(バス)
- セッション録音: 2012年9月/神戸松蔭女子学院大学チャペル
- KKC 5351(SACD Hybrid)/輸入盤・日本語解説付 ¥2,857+税

J.S. バッハ: カンタータ全集 Vol.26

- ・第180番「装いせよ、おお、わが魂よ」BWV180*
- ・第122番「新たに生まれし麗人」BWV122
- ・第96番「主キリスト、神の独り子」BWV96
- 野々下由香里(ソプラノ)
- ティモシー・ケンプラー=ブラウン(アルト)
- 櫻田亮(テノール)、ペーター・コイ(バス)
- セッション録音: 2003年6月/神戸松蔭女子学院大学チャペル
- BIS 1401(CD)/輸入盤 オープンプライス